

MS シャチを使用して Jabber MSI インストーラのカスタマイゼーションの TechNote

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

概要

この資料に MS シャチを使用して jabber のための Cisco メディア サービス インターフェイス (MSI) インストーラをカスタマイズする方法を記述されています。

MS シャチは Windows MSI インストーラ エディタです。それは作成のためのデータベーステーブル エディタおよび編集ウィンドウ インストーラ パッケージおよびマージ モジュールです。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Microsoft シャチ: Windows SDK 7.1 またはそれ以降。
- Cisco Jabber インストーラ バージョン 9.0 および それ 以上。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

設定

これは MS インストーラをカスタマイズするプロシージャです。

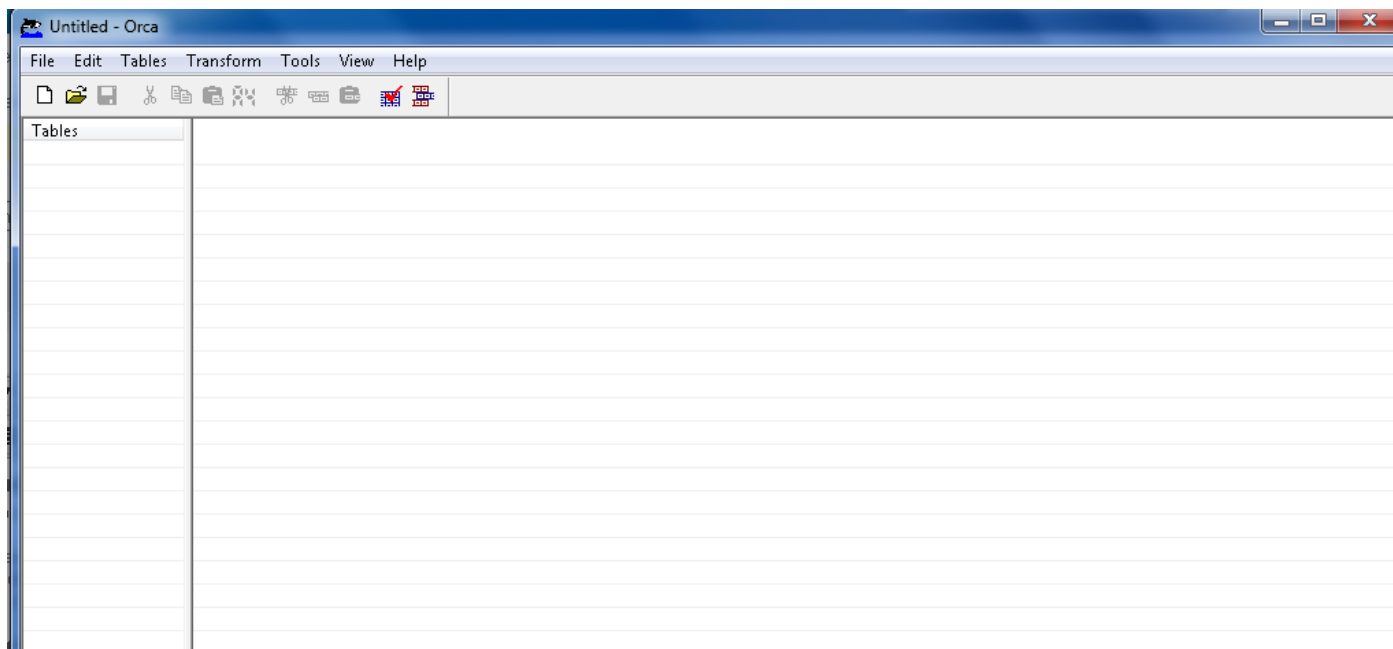
ステップ 1. Dowload および Intall Microsoft シャチ。

ステップ 2. CCO ページからの adminisrator パッケージが付いている alog をカスタマイズしてほ

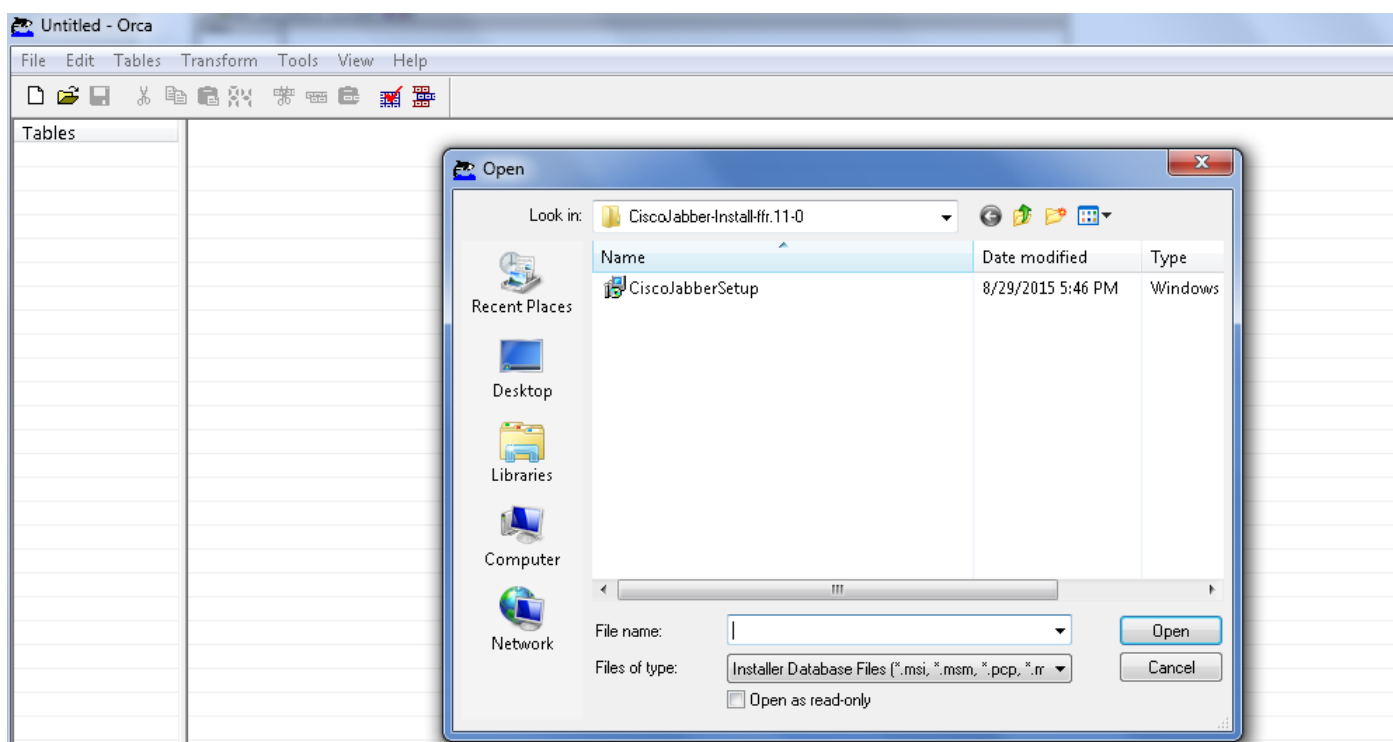
しい jabber のインストーラをダウンロードして下さい。

ステップ 3.単一 フォルダのインストーラおよび administrator パッケージを解凍して下さい。

ステップ 4.起動 Microsoft シャチ。



ステップ 5.イメージに示すように、jabber msi インストーラを、シャチの CiscoJabberSetup.msi 開いて下さい。



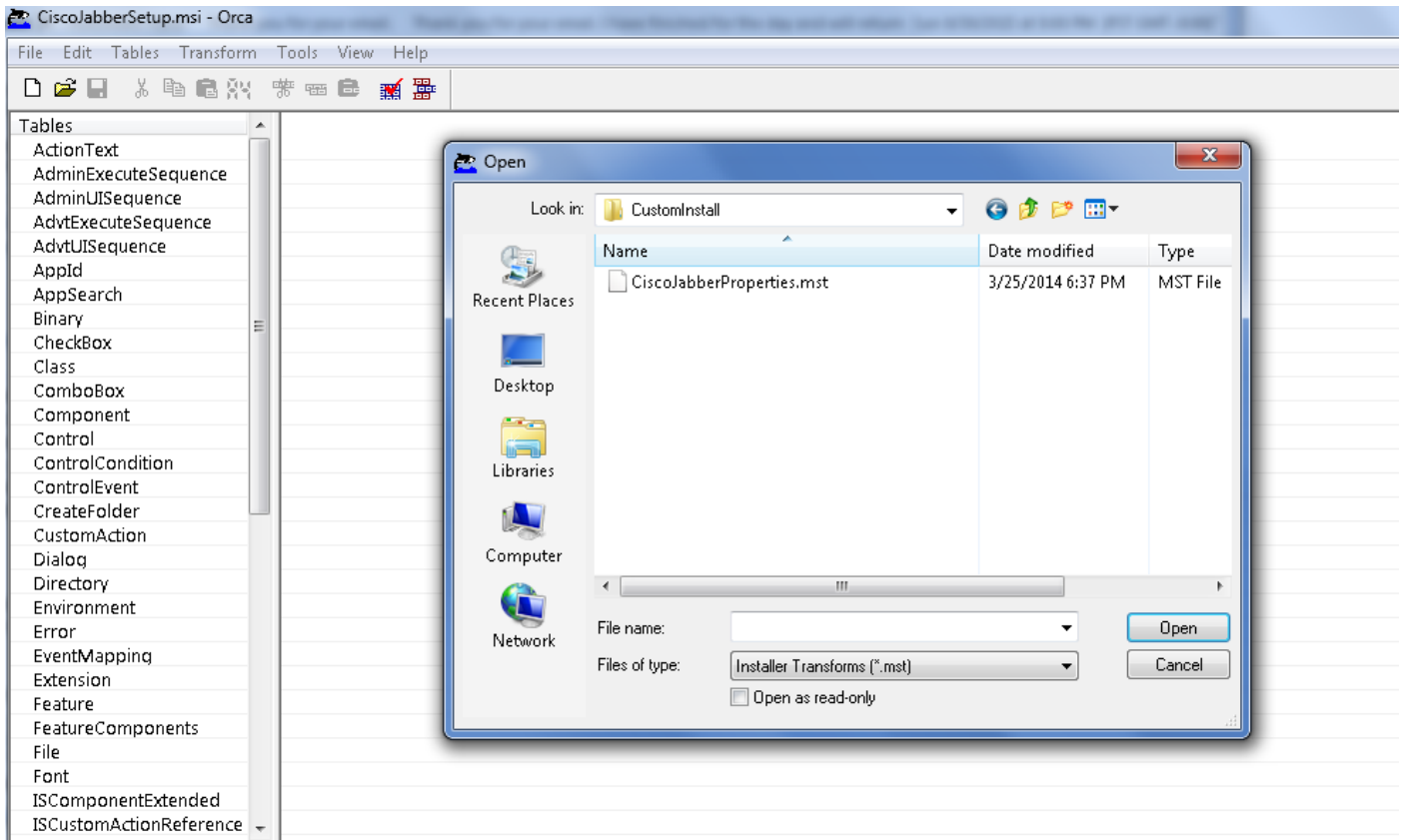
ステップ 6. 1033(English) を除いてすべての言語コードを削除して下さい。

注: この制約事項は MS シャチが 1033 のデフォルトを除いて言語を保たないのであります。すべての言語コードがカスタム インストーラから削除されない場合、インストーラは

言語が英語以外あるあらゆるオペレーティング システムで動作できません。

ListView	PROGMSG_IIS_REMOVEWEBSERVICEEXTENSIONS	Removing web service extensions...
Media	PROGMSG_IIS_REMOVEWEBSITES	Removing IIS websites...
ModuleComponents	PROGMSG_IIS_ROLLBACKAPPOOLS	Rolling back application pools...
ModuleSignature	PROGMSG_IIS_ROLLBACKVROOTS	Rolling back virtual directory and web site changes...
MsiFileHash	PROGMSG_IIS_ROLLBACKWEBSERVICEEXTENSIONS	Rolling back web service extensions...
Patch	PROGRAMFILETOLAUNCHATEND	Launch
ProgId	ProductID	none
Property	ProductLanguage	1033
RadioButton	ProductName	Cisco Jabber
ReqLocator	ProductVersion	11.0.0.65527
Registry	ProgressType0	install
RemoveFile	ProgressType1	Installing
Shortcut	ProgressType2	installed

ステップ 7. トランスフォームすべきナビゲートはファイル システムのトランスフォーム ファイルの位置に > トランスフォームを、参照します適用します。 トランスフォーム ファイルを選択し、次にイメージに示すように、『Open』 をクリックして下さい。 カスタム インストーラーを作成するために、トランスフォーム ファイルは必要です。 トランスフォーム ファイルはインストーラーに加えらるインストール プロパティが含まれています。



ステップ 8. イメージに示すように、表 > プロパティへのナビゲートは、プロパティのリスト グリーン バックグラウンド行との物がカスタマイズ可能なプロパティである右の panelout で目に見えます

Property	Value
RebootYesNo	Yes
ReinstallModeText	omus
SHOWLAUNCHPROGRAM	-1
SecomSDKFilename	SecomSDK.exe
SecureCustomProperties	ISFOUNDNEWERPRODUCTVERSION;USERNAME;COMPANYNAME;ISX_SERIALNUM;SUPPOR...
TELEMETRY_ENABLED	0
WebExMapiFileName	wbxcOIE.exe
WebExMapiFileName64	wbxcOIE64.exe
q	0
tewst	0
true	0
ISReleaseFlags	NoFlags
InstallShieldTempProp	0
CLEAR	<Bootstrap override argument>
SERVICES_DOMAIN	<Services domain>
USE_FT_GATEWAY	<File transfer support>
LOGIN_RESOURCE	<Multi-resource login support>
CCMCIP	<CCMCIP server address>
CTI	<CTI server address>
TFTP	<TFTP server address>
PRODUCT_MODE	<Your Jabber product mode>
AUTHENTICATOR	<Fallback Authenticator>
CUP_ADDRESS	<IPAddress/Hostname/FQDN>
FORGOT_PASSWORD_URL	<URL to organizations change password site>
TFTP_FILE_NAME	<Name of the TFTP file>
LANGUAGE	<The language code e.g. 1033>
SSO_ORG_DOMAIN	<Domain for SSO configuration>
VOICE_SERVICES_DOMAIN	<Voice Services Domain>
EXCLUDED_SERVICES	<CUP_CUCM_WEBEX>

ステップ 9. 必要条件によってプロパティに値を規定して下さい。

CLEAR	1
SERVICES_DOMAIN	<Services domain>
USE_FT_GATEWAY	<File transfer support>
LOGIN_RESOURCE	<Multi-resource login support>
CCMCIP	<CCMCIP server address>
CTI	<CTI server address>
TFTP	<TFTP server address>
PRODUCT_MODE	<Your Jabber product mode>
AUTHENTICATOR	<Fallback Authenticator>
CUP_ADDRESS	<IPAddress/Hostname/FQDN>
FORGOT_PASSWORD_URL	<URL to organizations change password site>
TFTP_FILE_NAME	<Name of the TFTP file>
LANGUAGE	<The language code e.g. 1033>
SSO_ORG_DOMAIN	<Domain for SSO configuration>
VOICE_SERVICES_DOMAIN	<Voice Services Domain>
EXCLUDED_SERVICES	WEBEX

Step10. 必要とならない他のすべてのプロパティを削除して下さい。

設定されないプロパティを削除することは重要ですまたは必須プロパティは実施されません。

非必須プロパティをプロパティおよびその右クリックは削除するために廃棄されるべき行きます。

ドロップする行を選択し、イメージに示すように、『OK』を選択して下さい:

CLEAR	1
SERVICES DOMAIN	<Services domains>
USE_FT_GATEWAY	<File tra
LOGIN_RESOURCE	<Multi-r
CCMCIP	<CCMCI
CTI	<CTI ser
TFTP	<TFTP sg
PRODUCT_MODE	<Your Je
AUTHENTICATOR	<Fallbac
CUP_ADDRESS	<IPAddr
FORGOT_PASSWORD_URL	<URL to
TFTP_FILE_NAME	<Name
LANGUAGE	<The lar
SSO_ORG_DOMAIN	<Domain
VOICE_SERVICES_DOMAIN	<Voice S
EXCLUDED_SERVICES	WEBEX

Property - 149 rows

Errors...	
Cut Cell	Ctrl+X
Copy Cell	Ctrl+C
Paste Cell	Ctrl+V
Paste New GUID	Ctrl+G
Import Text File...	
Cut Row(s)	Ctrl+Shift+X
Copy Row(s)	Ctrl+Shift+C
Paste Row(s)	Ctrl+Shift+V
Add Row	Ctrl+R
Drop Row	

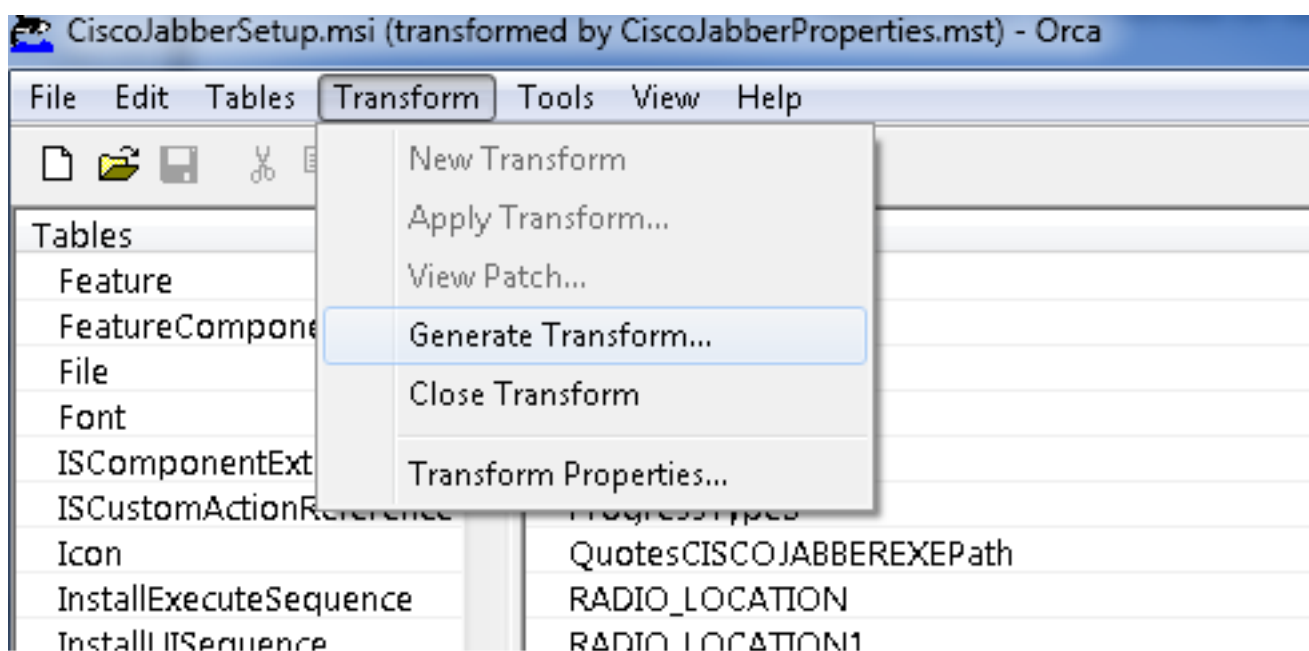
ステップ 11. 変わるために必要となるプロパティを保ってください。

ISReleaseFlags	NoFlags
InstallShieldTempProp	0
CLEAR	1
EXCLUDED_SERVICES	WEBEX

手順 12: また生成されるトランスフォームされたファイルが保存され、インストーラのプロパティを修正するのに使用することができます。

トランスフォームされたファイルを、ナビゲート イメージに示すように > 生成する トランスフォーム保存するため、トランスフォームするために。

これは形式 filename.mst でトランスフォームされたファイル保存することができます。

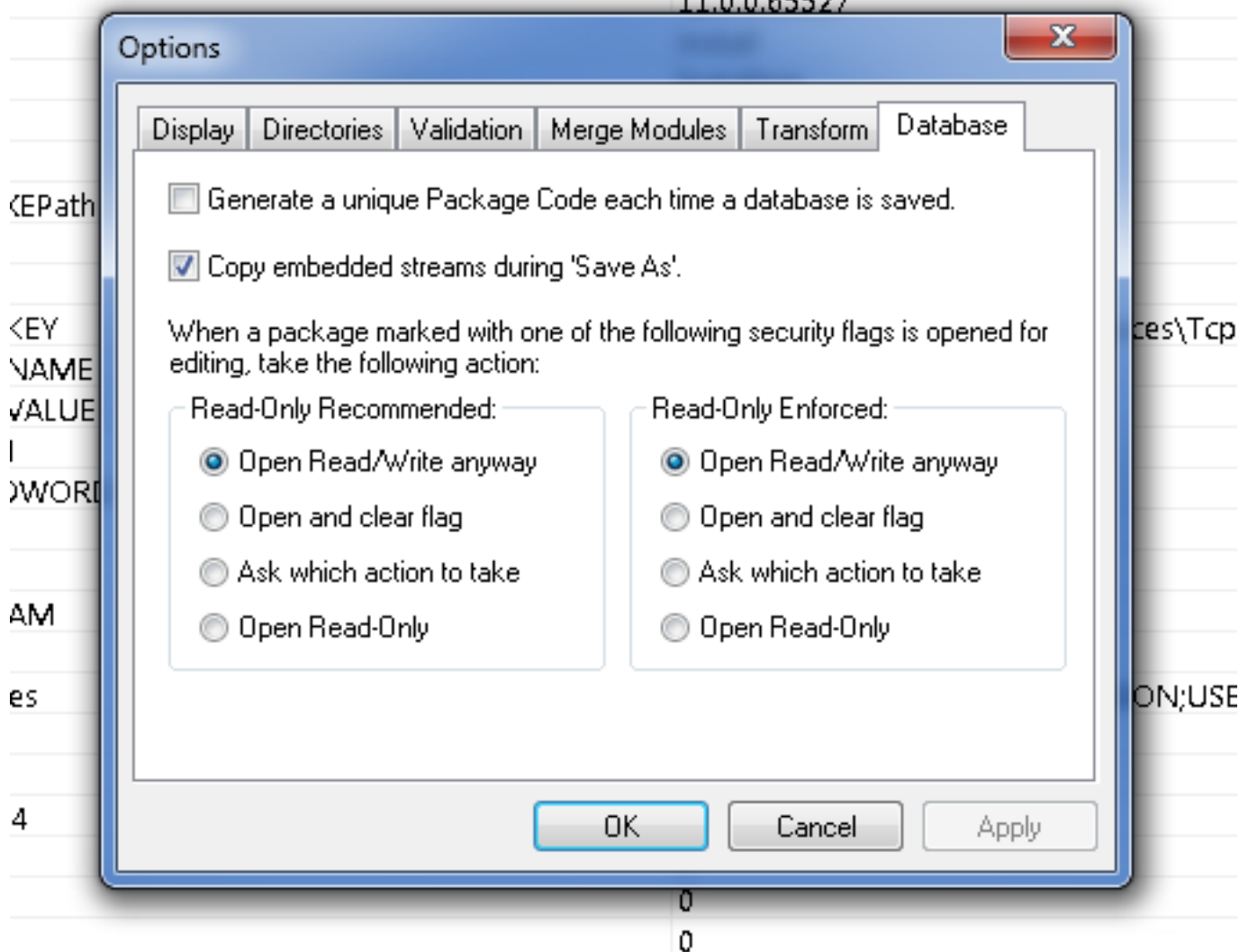


手順 13: 組み込みストリームを保存することをインストーラが可能にして下さい。

、チェック コピー embedded ストリームは「保存ツール > オプションにおよび Database タブの

下での間にとして」ナビゲートし、次にイメージに示すように、inApply および良くクリックします:

CISCO JABBER
11.0.0.65527



手順 14: トランスフォームされる File > Save のようにナビゲートするようにカスタマイズされたインストーラを保存して下さい。適した名前を規定し、保存でクリックして下さい。

このカスタマイズされたインストーラはグループ ポリシー配備と使用することができます。